



令和6年8月29日

無料の子宮頸がんワクチン受けるために、9月の初回接種を！ HPV ワクチンに関する本学学生へのアンケート結果を公表

情報提供

【概要】

- アンケート調査に回答した本学学生の 72%が子宮頸がんワクチンに関するキャッチアップ制度の詳細を「知らない」ことが判明しました。
- キャッチアップ制度が無料で接種できるのは今年度末まで。以降は有料（およそ5-10万円）となります。
- ワクチン接種は3回必要で、今年度末に接種を終えるには、初回は9月中に接種する必要があります。

平成9(1997)年度～19(2007)年度生まれの女性を対象にした HPV ワクチンのキャッチアップ接種が実施されています。広島県内の接種率は、令和4(2022)年度で定期接種が9.3%、キャッチアップ接種が7.5%にとどまっています。広島大学保健管理センターが、本学学生へ意識調査をしたところ、「キャッチアップ接種が今年度末に終了し、それ以降は有料になること」を、72%が「知らない」と回答しました。

キャッチアップ接種が終了する今年度末までに3回の接種を完了させるためには9月中に初回の接種を行う必要があることから、広島大学では、県内でさらなる普及啓発活動を予定しています。

そこで、記者説明会を開催し、アンケート結果の公表および今後の啓発活動についてご報告しますので、ぜひご参加ください。

記

日 時：令和6年9月5日(木)13時00分～14時00分（報道受付12時30分～）

場 所：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟2階2F1会議室（広島市南区霞 1-2-3）

出席者：広島大学保健管理センター 岡本 百合 教授・センター長
広島大学病院循環器内科 小畠 啓史 医師
広島大学病院小児科 木戸口千晶 医師

【背景】

子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんで、日本では毎年、約1.1万人がかかり、さらに毎年、約2,900人が亡くなっています。HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）による感染を防ぎ、子宮頸がんを予防する効果があることから、小学6年生から高校1年生相当の女性を対象に定期接種が実施されています。また、積極的勧奨（予診票の個別送付等）が差し控えられていた間、接種の機会を逃した方（平成9年度生まれ～平成19年度生まれで、過去にHPVワクチンを合計3回受けていない女性）を対象に、現在、キャッチアップ接種が実施されているところです。

しかしながら、厚生労働省が公表した都道府県別接種率によると、広島県における令和4年度のHPVワクチンの接種率は、定期接種、キャッチアップ接種それぞれ、9.3%、7.5%にとどまっています。こうした中、岡本百合センター長を中心に、広島大学保健管理センターが、本学学生におけるHPVワクチンの意識調査のため、アンケートを実施しました。その結果、165人の回答者の約半数が、HPVワクチンについて、「聞いたことはあるがよく知らない」もしくは「聞いたこともない」と回答し、「キャッチアップ接種が今年度末に終了し、それ以降の接種は有料になること」について、72%が「知らない」と回答しました。

こうした結果を踏まえ、県内大学や高校向けに、さらなる普及啓発活動を実施する予定です。

【参考情報】

厚生労働省ホームページ ヒトパピローマウイルス感染症～子宮頸がん（子宮けいがん）とHPVワクチン～

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou28/index.html>

【お問い合わせ先】

広島大学病院広報

Tel：082-257-5418

E-mail：byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）



(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学 広報室 行

記者説明会（9月5日（木）13時00分開始・霞キャンパス）のご案内

無料の子宮頸がんワクチン受けるために、9月の初回接種を！
HPV ワクチンに関する本学学生へのアンケート結果を公表

日 時：令和6年9月5日（木）13時00分～14時00分

場 所：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟2階 2F1会議室

☐ ご出席

貴社名：_____

部署名：_____

ご芳名：_____（計 名）_____

電話番号：_____

メールアドレス：_____

※誠に恐れ入りますが、取材いただける場合には、上記にご記入頂き、
9月4日（水）正午までにご連絡ください。